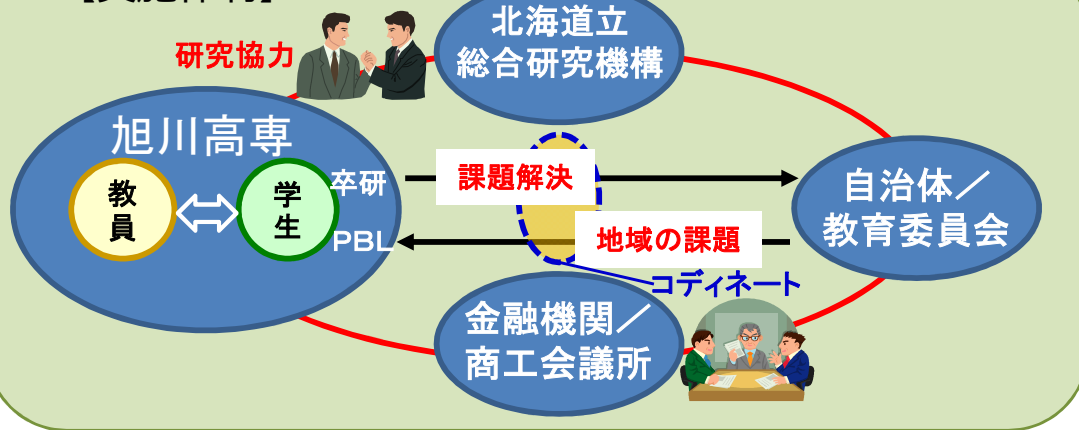


【取組の目的、内容】

目的：既存4学科の各専門知識・技術及び地域の産官学連携の下で、食品・農業・医療・福祉分野の基礎的な知識と技術を併せ持ち、地域産業を牽引できる人材を育成する。

内容：食品・農業・医療・福祉と共にビジネスに関わる基礎知識と技術を学ぶ座学・実習科目並びに地域農家、食品加工企業や高齢者が抱える諸課題をピックアップし、産官学の指導により学生が課題解決を図る「エンジニアリングデザイン系」科目を開発、実践し、平成30年度末までにパッケージを作成する。

【実施体制】



【工程表】

	H29.7 ~9	H29.10~ H30.3	H30.4 ~9	H30.10 ~H31.3
プログラム開発 調査・広報	調査 プログラム開発	調査 調査	広報	プログラムまとめ
授業内容の開発		開発(4年生用)	開発(5年生用)	科目開発まとめ
PBL科目での 課題取組		H29課題取組		H30課題取組
事業評価・改善		H29事業評価 改善		H30事業評価

【成果指標】

- 本校で修得した工学技術（情報処理・メカトロ・バイオ等）を「農業・食品」「医療・福祉」またはビジネス分野にも活用できる能力を有した技術者の輩出 【H28年度：10名 → H30年度末：20名】
- 産業界との連携による教育を活用した専門知識強化のための授業科目数の提供
 【授業科目数：H28年度：0科目 → H29年度：3科目 → H30年度：6科目】
- 本校で養成する問題解決型技術者の地域企業等への輩出 【25名（H26-H28年度平均） → 28名（H30年度）】



【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- 平成31年度以降、総合科学工学科(仮称)に再編後、入学志願者を確保する。
- 新たに、4年次でさらに「農工連携」、「医工連携」を柱とした横断プログラム科目を開設する。